

款・項・目	細 目	施策又は事業名	決算額	事 業 内 容 及 び 成 果																												
		のべおか市民大学院 講座開設事業	1,300,000	<p>大学を活かしたまちづくりを進める中で、本市のまちづくりリーダーの育成を目指し、保健・医療・福祉に関する専門性の高い講座「のべおか市民大学院」を九州保健福祉大学に委託し、開設した。【定員48名】</p> <table border="1" data-bbox="1084 300 1832 370"> <thead> <tr> <th>開 催 数</th> <th>受講者数</th> <th>委 託 料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全20回(平成23年5月～平成24年2月)</td> <td>48人</td> <td>1,300,000</td> </tr> </tbody> </table>	開 催 数	受講者数	委 託 料	全20回(平成23年5月～平成24年2月)	48人	1,300,000																						
		開 催 数	受講者数	委 託 料																												
		全20回(平成23年5月～平成24年2月)	48人	1,300,000																												
学 術 学 会 誘 致 推 進 事 業	400,000	<p>(財)みやざき観光コンベンション協会が行う誘致推進事業と連携し、本市で開催する一定規模の学術学会の主催者に対し、所定の要綱に基づき開催費用の一部を補助した。</p> <table border="1" data-bbox="1084 520 2060 590"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>延参加者数</th> <th>補 助 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本社会医療学会第12回学術大会</td> <td>900人</td> <td>400,000</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	延参加者数	補 助 額	日本社会医療学会第12回学術大会	900人	400,000																								
名 称	延参加者数	補 助 額																														
日本社会医療学会第12回学術大会	900人	400,000																														
大学を活かしたまちづくり 学生支援事業	18,030,000	<p>市内の大学に入学する市民及び留学生に対し、入学奨励金を交付することにより、市内の大学への進学を促進し、高等教育への就学機会の確保と大学の活性化支援が図られた。さらに、入学時に全ての学生に市内の商店街等で利用できる商品券(元気のべおか商品券)を支給し、新生活に必要な教材や日用品等の購入を支援するとともに、市内での消費拡大を推進した。</p> <table border="1" data-bbox="1084 807 2060 944"> <thead> <tr> <th>名 称</th> <th>対象人数</th> <th>支 給 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大 学 入 学 奨 励 金</td> <td>市内出身学生:49名 留学生:4名</td> <td>15,900,000</td> </tr> <tr> <td>入 学 記 念 品 支 給</td> <td>入学生:426名</td> <td>2,130,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>18,030,000</td> </tr> </tbody> </table>	名 称	対象人数	支 給 額	大 学 入 学 奨 励 金	市内出身学生:49名 留学生:4名	15,900,000	入 学 記 念 品 支 給	入学生:426名	2,130,000	計		18,030,000																		
名 称	対象人数	支 給 額																														
大 学 入 学 奨 励 金	市内出身学生:49名 留学生:4名	15,900,000																														
入 学 記 念 品 支 給	入学生:426名	2,130,000																														
計		18,030,000																														
(11) 電算管理費	情報化推進事業	ケーブルテレビ 運 用 事 業	69,654,804	<p>合併後の地域情報格差是正と一体感の醸成を図るため、平成18年度と19年度に公設民営方式により整備したケーブルテレビ施設(北方町・北浦町・北川町・島浦町及び旧市内の一部)の運用を行った。</p> <p>保守管理業務委託事業者:(株)ケーブルメディアワイワイ</p> <table border="1" data-bbox="1084 1161 2119 1299"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>事 業 費</th> <th>区 分</th> <th>事 業 費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保守管理委託料</td> <td>36,489,000</td> <td>P S 柱 電 気 料</td> <td>3,957,222</td> </tr> <tr> <td>電柱等使用料</td> <td>14,624,122</td> <td>そ の 他 の 経 費</td> <td>18,375</td> </tr> <tr> <td>光ケーブル支障移転費用</td> <td>14,566,085</td> <td>計</td> <td>69,654,804</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="1084 1331 2119 1433"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>歳 入</th> <th>区 分</th> <th>歳 入</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>設 備 貸 付 料</td> <td>69,005,304</td> <td>光ケーブル支障移転補償金</td> <td>4,544,885</td> </tr> <tr> <td colspan="2">計</td> <td>計</td> <td>73,550,189</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	事 業 費	区 分	事 業 費	保守管理委託料	36,489,000	P S 柱 電 気 料	3,957,222	電柱等使用料	14,624,122	そ の 他 の 経 費	18,375	光ケーブル支障移転費用	14,566,085	計	69,654,804	区 分	歳 入	区 分	歳 入	設 備 貸 付 料	69,005,304	光ケーブル支障移転補償金	4,544,885	計		計	73,550,189
区 分	事 業 費	区 分	事 業 費																													
保守管理委託料	36,489,000	P S 柱 電 気 料	3,957,222																													
電柱等使用料	14,624,122	そ の 他 の 経 費	18,375																													
光ケーブル支障移転費用	14,566,085	計	69,654,804																													
区 分	歳 入	区 分	歳 入																													
設 備 貸 付 料	69,005,304	光ケーブル支障移転補償金	4,544,885																													
計		計	73,550,189																													

担当者

情報開発係長

運用管理係長

情報管理課長

企画部長

田上

小中谷

ケーブルテレビサービス提供エリア整備についての確認書

企画部説明書

延岡市（以下「甲」という。）と株式会社ケーブルメディアワイワイ（以下「乙」という。）とは、ケーブルテレビサービス提供エリア（以下「エリア」という。）の拡張等について次のように確認する。

（甲が実施した事業で除外された未整備地域での加入希望への対応）

第1条 甲が平成18年度に実施したケーブルテレビエリア拡大事業（以下「事業」という。）で除外となった旧延岡市域における未整備地域において、すでにケーブルテレビへの加入希望がある地域は、平成19年3月末日までに乙がエリア拡張工事を実施し、加入可能な状態にする。

（旧延岡市域における未整備地域への対応）

第2条 事業開始までに、乙が整備をした旧延岡市域エリアまたはそれに隣接する地域において、今後、加入希望があった場合は、乙が、乙の整備基準に従い、可能な範囲において、加入可能な状態にするための設備追加工事またはエリア拡張工事を実施する。

（宅地造成等により新たに発生した未整備地域への対応）

第3条 平成19年1月18日に事業が完了した後に、宅地造成等により新たに発生した延岡市域の未整備地域については、乙が、乙の整備基準に従い、可能な範囲においてエリア拡張工事を実施する。

以上、本確認書締結の証として本書2通を作成し、甲乙双方記名捺印の上、各々1通を保有するものとする。

平成19年1月18日

甲

延岡市

企画部部長

中嶋 弘

乙

株式会社 ケーブルメディアワイワイ

専務取締役

林 俊一

## ケーブルテレビサービス提供エリア整備についての確認書

延岡市（以下「甲」という。）と株式会社ケーブルメディアワイワイ（以下「乙」という。）とは、ケーブルテレビサービス提供エリア（以下「エリア」という。）の拡張等について次のように確認する。

（甲が実施した事業で除外された未整備地域での加入希望への対応）

第1条 甲が平成18年度に実施したケーブルテレビエリア拡大事業（以下「事業」という。）で除外となった旧延岡市域における未整備地域において、すでにケーブルテレビへの加入希望がある地域は、平成19年3月末日までに乙がエリア拡張工事を実施し、加入可能な状態にする。

（旧延岡市域における未整備地域への対応）



第2条 事業開始までに、乙が整備をした旧延岡市域エリアまたはそれに隣接する地域において、今後、加入希望があった場合は、乙が、乙の整備基準に従い、可能な範囲において、加入可能な状態にするための設備追加工事またはエリア拡張工事を実施する。



（宅地造成等により新たに発生した未整備地域への対応）

第3条 平成19年1月18日に事業が完了した後に、宅地造成等により新たに発生した延岡市域の未整備地域については、乙が、乙の整備基準に従い、可能な範囲においてエリア拡張工事を実施する。

以上、本確認書締結の証として本書2通を作成し、甲乙双方記名捺印の上、各々1通を保有するものとする。

平成19年1月18日

甲	延岡市	
	企画部部長	中嶋 弘 
乙	株式会社 ケーブルメディアワイワイ	
	専務取締役	林 俊一 

		課室名		情報管理課			
起案日		平成21年3月23日		決裁日		平成21年3月25日	
課内		検討者				決裁者	
担当者	起案責任者					課長補佐 兼運用管 理係長	情報管理 課長
	副主幹兼情報開発係長  Tel 2138						
		意見					
		合 議 者					
ファイリング マネージャー	公 印						
		意見					
広報のべおかへの掲載		要 ・ 否		ホームページへの掲載		要 ・ 否	

件名：覚書締結について

---



---

平成19年度施工の延岡市ケーブルテレビエリア拡大事業北川工区において、九電への共架申請漏れがあったことについて、株式会社九電工と下記のとおり覚書を締結したい。

---



---



---



---



---

記

1. 経緯

平成19年度工事完了後に、北川工区請負業者の㈱九電工より一部地区において九電への共架申請を行わないまま電柱共架をしているとの報告を受けた。本来の共架申請から許可までには相当の日数を要すために、別紙確約書を九電に提出し許可前の作業を認めてもらうという形をとった。

(平成20年6月3日)

2. 費用負担

本件は、工事完了後であるために共架照会手数料を延岡市が負担することは予算上困難であり協議の結果、㈱九電工で負担することになった(平成20年7月9日)

3. 照会費内訳

申請番号申請番号北川農第117-2-21、22号(平成20年4月25日)

場所 延岡市北川町

数量 34(21号)+5(22号)=39本

照会費 17,850(21号)+2,625(22号)=20,475円

4. 覚書(案)

別紙のとおり

さらに照会費は九電工より九電に対して振り込まれていますが、  
後日の記録書類として、覚書を残しておく可。

覚 書

株式会社九電工(以下、甲という。)と延岡市(以下、乙という。)は、平成 19 年度の延岡市ケーブルテレビエリア拡大事業北川工区における工事完了後の九電柱共架未申請問題について、双方同意の上、次のとおり覚書を作成する。

記

1. 共架申請に伴う照会手数料は甲の負担とし、平成 20 年度中に甲より九州電力株式会社延岡営業所に対して支払うものとする。

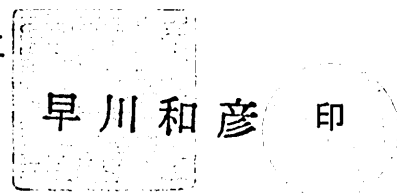
以上

平成21年 3 月 25 日

甲 住所 延岡市大貫町 2 丁目 1300 番地

氏名 株式会社九電工

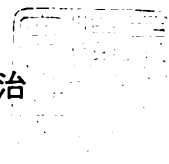
延岡営業所長



乙 住所 延岡市東本小路 2 番地 1

氏名 延岡市

延岡市長 首藤 正治



印